

● クラブテーマ ●
ク ラ ブ を 変 化 さ せ よ う

■■ 本日のプログラム ■■
■ 会員卓話 内田逸美君 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)

●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)

E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1278 例会 会長挨拶◆◆

「過去に無知なる者は未来が見えない」と言われるように、過去の歴史を学ぶことは、ロータリアンの素養として大切な事です。そこで、今日は日本のロータリーの歴史の一部を紹介します。

日本初の東京ロータリークラブは、大正9年10月20日、東京丸ノ内の銀行クラブという古色蒼然たる建物で実力百万石の超一流の実業家24名によって創立されました。初代会長は米山梅吉、初代幹事は福島喜三次でした。人格的にも立派な大実業家ばかりの集まりでありましたが、ロータリーの事は良く分かっていませんでした。俺のお陰でロータリーがあるという考え方でしたから、月一回の例会も碌に集まりません。例会は毎月一回、第二水曜日でありましたが、年末年始は休会にしたりして、真面目にロータリー活動をしていなかったそうです。言わば、初代会長の米山さんは、クラブ維持のために妥協を強いられていたといえます。従ってルールと親睦が対立した時はルールの方を捨てたそうです。しかし、米山さんは後になってクラブが潰れなくなってからはルール厳守を要求する様になりました。このことが亦、一部から反感を買うことにもなったのであります。

この様な東京クラブに電撃的なショックを与えたのが大正12年9月1日の関東大震災でした。当時日本には、東京クラブと大阪クラブしかなかったのですが、時のRI事務総長のチェスレー・ペリーは、直ちに25,000 \$ の大金を義援金として東京クラブに送って来ました。これが差水となり、世界中の503クラブから64,000 \$ が送られ総額89,000 \$ の義援金が集まりました。これを見て腰を抜かすほど驚いたのが米山さんを始め日本のロータリアンでした。今までロータリーなど大した組織ではないと馬鹿にしていたましたが、これは大変な組織だということで、それ

から謙虚にロータリーの奉仕を学ぶようになったそうです。

そしてそれまで、東京ロータリークラブは、特権保有クラブとして毎週一回の例会の開催を義務付けられていませんでしたが、この特権を放棄して毎週一回必ず例会を開き、奉仕に耳を傾けるようになったのでした。時に大正13年11月14日のことでした。

6月のプログラム

1279回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話
06月14日(木)	河野靖人様 現理事会⑬新理事会①
1280回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
06月21日(木)	1年を振り返って 会長・幹事
1281回 18:30	ニューウェルサンピア沼津 さよなら例会
06月28日(木)	クラブ管理運営委員会 夜間例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1278回	25 名	21 名	-	84.00 %
1276回	28 名	23 名	0 名	82.14 %

●ゲスト

1. 河野靖人様

●ビジター

1. 大石昭裕様：沼津柿田川RC

●欠席者(4名)

久松 但、井上武雄、渡邊勝也、山田和典

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	久松 但

●スマイル報告

1. 鈴木良則：誕生日のお祝いありがとうございます。
入会記念日のお祝いありがとうございます。
2. 永井克彦：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 穎川ゆう子：誕生日のお祝いありがとうございます。
しばらく、休んですみませんでした。展覧会、無事に終了しました。
4. 内田逸美：本日は、卓話させていただきます。よろしくをお願いします。
5. 山本宜司、6. 名古屋良輔、7. 本村文一、8. 芹澤和子、
9. 成田みちよ、10. 鶴田龍聖：内田さん、本日の卓話、
よろしくをお願いします。
11. 名古屋良輔：2018千歳マラソン完走しました。緑の中を駆け抜けました。
12. 神尾栄一：前回欠席しまして、すみませんでした。
13. 下原満知子、14. 永井克彦：所用につき、早退させていただきます。
15. C・Dテーブル：C・Dテーブル会残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津RC

6月08日(金) 移動例会 MU受付:沼津リバーサイド
ホテル 11:30~12:30

2. 報告・連絡事項

- ①次回は、現、新理事会がありますので、理事の方は
出席又協議資料の提出をお願いします。

会員卓話

HOSPITALITY (ホスピタリティ)

「もてなしの心」について



内田逸美君

皆様、ごきげんよう。内田逸美でございます。六月に入りまして、緑、益々美しい季節に、卓話というステキな、お時間をいただきました。
大変うれしく思っております。本日は、どうぞ、よろしく願いいたします。

私は、この地元静岡と東京都内で、総合ビル管理、環境プロデュースという仕事に携わっております。今回は、その中から、ホスピタリティとホスピタリティ部門のお話しを、七つの章に分けて、させていただきます。

テーマは「もてなしの心」です。

第一章、総合ビル管理、環境プロデュースについて。

この二つの言葉は、その文字のごとく、一つの建築物と、それを取り巻く環境の全ての、管理業務です。大きく分けると、ビル管理法に基づく管理業務、電気空調等の設備管理業務、営繕業務、警備業務、清掃業務、庭園管理業務とございます。

全ての建築物と、その回りに対して、ほぼ、同じような管理をするのですが、その建築物の、目的と種類によって、私どもでは、一般的なビルの事を、ビルマネージメント部門。ホテル等宿泊施設の事を、ホスピタリティ部門として分けております。

第二章、ホスピタリティとは？

そのまま訳しますと、「丁重なもてなし」、又は、「もてなしの心」という意味でございます。ホテル業の中で、もっとも大切な言葉です。

その場に、携わる全てのスタッフが、身に付けている言葉でございます。

これは、管理業務や、客室メイク等に、携わっております私どもも同じです。

私の会社は、父の代に、ホテル部門として、「三島ステーションホテル」というホテルを、三島市一番町で営んでおりました。私にとっても、ホテルとは身近なもので、経営者側から、管理業務側になった現在でも、その業務は大切にしております。ホテルの中は、レストランラウンジ、ショップ、客室とございます。どれも大切な空間ですが、その中でも、お客様が一番長い時間を過ごされる、客室は、特に大切な場所とされております。すばらしいお食事やお酒を、いただいても、その日、ご宿泊されるお部屋が、快適でなければ、一日は台無しになります。

第三章、「前日のお客様の気配を、絶対に残さない！」

これは、客室メイクをするにあたっての心得です。メイクとは、清掃整備の事です。客室担当責任者ハウスキーパー、フロアーキャプテン、メイド、ハウスマン、携わるスタッフの名称です。

お客様が、チェックアウトされてから、インするまでの、わずか4~5時間ぐらいの間、ホテルよりマスターキーを預かり、彼らの無言の戦いが始まります。しかも、お客様が一人もいないというわけでは、ありません。業務をしていても、常に「ゲストファースト」でなければ、いけません。

これは、設備点検等のスタッフも同じです。廊下の中央は、常にお客様の為に空けておくもので、作業中であっても、片側を静かに歩き、走ったり、横に並んだり、壁に手を触れても、いけません。緊急時を除き、廊下でお客様を追い越してもいけません。やむを得ない場合は、「失礼いたします。」「EXCUSEME, SIR OR MADAM」と必ず声を掛けて会釈をします。

客室内を、ゴミ1つ、ホコリ1つ無く仕上げるのは、あたり前の事です。が、「前日のお客様の気配を、絶対に残さない！」という定義に基づく、例えば、置かれているホテルの名入りメモ用紙が、白紙になっていても、前日ゲストの筆跡が残っていないか、注意して

みます。もし筆跡があれば、それが写っていない所で、はずすか、新品に変えます。

限られた時間の中で、砕心の注意をします。そして、お部屋を出る前に、再度チェックして、自身の気配も消します。

その後、再度、チェッカーというスタッフがインスペクションという点検業務をします。二重三重のチェックのもとに、本日のゲスト様だけの、新しいお部屋になります。まさに彼らは、バックヤードの「魔女」と「魔術師」です。

第四章、ホスピタリティ「もてなしの心」がなくなると？

これは、本当にあった「コワイ」お話しです。「垢で、死なない！」という言葉があります。垢とは、色の赤色ではなく、けがれや汚れの事ですが、「垢で、死んでしまった」お話しです。

1990年以降、バブル景気が、崩壊し、ある金融機関が、破綻しました。これはその時代、かなり衝撃的なニュースでした。この銀行の事を、「何か変だよ。」「あそこ、少しおかしいよ。」と言い始め、噂したのは、金融の専門家でも、経済の専門家でもありません。そこに、こられたお客様でした。

以前には、館内は、常に美しく清掃され、備品に、いたるまで整頓され清しい場所だったようですが、ある時から、人目にわかるように、あちらこちら汚れてきたそうです。

後日わかる事ですが、経費の削減のため、毎月の外注による館内のメンテナンスを、やめたそうです。経費の削減は、悪い事では、ありません。ただ、そこにこられるお客様が、不快な思いをされるのは、いかがなものでしょうか？

汚れていると、空気の流れも悪くなります。ひどいと、病気も発生します。不運になります。何も良い事はありません。

その銀行の方に、ホスピタリティ「もてなしの心」が、あったならば、館内のメンテナンスを、外注に依頼しなくても、せめてお客様のこられるフロアだけでも、自分たちで、気にかけていたら・・・・・・

「垢で、死んでしまう」事は、なかったかもしれません。

神社仏閣の一日の始まりは、境内の掃き掃除に始まります。

清く美しい場所を作るのは、気持ちさえあれば簡単に、人の手で、できます。

最近の東京都心のホテルは、ホテル単体ではなく、オフィスエリアを含む、複合ビルに、なっているものが、多くあります。

ホテル内での、ホスピタリティ「もてなしの心」の要素がビル全体に広がれば、こんな「垢で、死んでしまう。」「コワイお話」も、なくなると思います。

第五章、ホスピタリティに生きる！

心からもてなすという気持ちは、まず、自身が健康で、ある事だと思います。

健康であれば、笑顔になれるからです。どこか痛い所があると、なかなか難しいものです。私の会社は、創

業90年になります。

「90才」です。私の知人に、同世代の方が、現役でいられます。

お一人は、モンブランの万年筆を、日本に初めて輸入され、その修理、メンテナンスも、日本で、できるようにされた、横山茂様です。90才からの人生を、ご自身の第2幕と申しております。

もうお一人は、地唄舞宗家神崎流神崎家元です。毎年国立劇場で、舞の会を主宰し、ご自身も舞台に立ちます。ヨーロッパ公演もします。このお二人の共通点は、まず健康、そして、全部みごとにご自身の歯で、虫歯一本も、ないという事です。

毎日の、身体のメンテナンスがあつての事です。東京都内で、歯科医師をしている息子は、「自分の歯が最低20本以上あるのが大事！それには、毎食後の歯磨き！」と申します。今期の「沼津西ロータリークラブ」のお誕生日祝は、「電動歯ブラシ」でした。

それから、入会記念のお品は、「マグカップ」でした。役者がそろいました。

皆様、この歯ブラシで、歯磨きをして、このマグカップで、すすいで下さい。

毎日のメンテナンスに、励んで下さい。「常に良いものを“社会に提供し、もてなしたい！」というこの御二方のように、健康で、素晴らしい90才になると思います。

第六章、SERVICE(奉仕)HOSPITALITY（もてなしの心）

ロータリークラブの精心、「奉仕」とは、利害を考えずに、つくす事です。私が、テーマにした、「ホスピタリティ」は、もてなす心です。この2つの言葉は、どちらも心からで、なければ成り立ちません。

私が、ホテルという業務の中で、仕事をしているからではなく、全ての業種に、大切な言葉だと思います。でも難しく形式に、とらわれる事では、ないと思います。

自分がされて嫌な事は、しない。自分がされて、うれしく思う事をする。ここからでも、良いのではないのでしょうか？自然な所作に、なると思います。

第七章、次世代のHOSPITALITY（もてなしの心）

ホテルも複合ビルの一角となり、多様化の時代となりました。でも、宿泊施設が、「旅籠屋」といわれた、江戸時代より今日何百年も経った現代でも、その「もてなしの心」は、変わる事はなく、全ての業務にあります。

本日は、平成の六月です。来年の六月は、元号が変わっております。

新しい時代になります。2020年東京で、再びオリンピックが開催されます。

老いも若きも日本中で、「おもてなし」です。

だから、次世代に、なっても、このホスピタリティ。もてなしの心は、変わらないと思います。

平成最後の六月に、このような、お時間をいただきまして、深く感謝しております

本日は、ありがとうございました。

● クラブテーマ ● ク ラ ブ を 変 化 さ せ よ う

■■ 本日のプログラム ■■ ■ 外部卓話 河野靖人様 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)

●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)

E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1279 例会 会長挨拶◆◆

ロータリークラブと同様で、中小企業も後継者不足が深刻になっているそうです。

日本経済の活力を高めるうえで欠かせないのが、雇用の7割を支える中小企業の成長です。ところが後継者不足が深刻で、廃業に追い込まれる例も少なくなく。円滑な事業承継に向け、総合的な対策を講じる時に来ているといえます。

2025年には6割以上の中小企業で経営者が70歳を超え、このうち現時点で後継者が決まっていない企業は127万社あると経済産業省は試算しています。

休業・廃業や解散をする企業の5割は経常損益が黒字だそうです。経産省によれば、廃業の増加によって25年までの累計で、約650万人の雇用と約22兆円の国内総生産が失われる可能性があると言われてしています。

成長力のある中小企業の廃業は日本の産業基盤を弱めかねなく、地方経済の活性化のためにも、後継者の確保や早めの事業の引き継ぎをしやすくする必要があります。

親族のなかで経営者が交代する他に、外部からのトップ起用や、他企業などの第三者に会社を売却するやり方もあります。経営者が代われれば事業の新陳代謝が進むことも期待出来ます。但し経営親族が代わると、今までの密接な取引がしづらくなると心配する取引先からは、独立経営をお願いされる場合が多いのも事実で、中小企業ならではの事情があります。更に、親族内の承継では贈与税や相続税の支払いを猶予する制度もあり、この優遇措置がかえって第三者への事業継承や再編が広がるのを阻んでいる面もあります。従って現在はこうした条件を見直す余地はあります。

外部からの経営者の登用では、地方銀行や信用金庫など地域金融機関の役割が重要になります。取引先企業の人材の中からなら中小企業の後継者候補を探しやすいはずで、商工会議所などとも連携を深

めて人材の紹介に力を入れてほしいと思います。

地方では、中小企業が維持される環境づくりが求められます。それがロータリアンの維持にも繋がりますので、政府はもっと後継者対策を強力に進めるべきで、中小企業の成長や新規起業家の支援に多面的に取り組んで頂きたいと思います。

6月のプログラム

1280回	12:30	ニューウェルサンピア沼津
06月21日(木)	1年を振り返って	会長・幹事
1281回	18:30	ニューウェルサンピア沼津 さよなら例会
06月28日(木)	クラブ管理運営委員会	夜間例会

7月のプログラム

1282回	12:30	ニューウェルサンピア沼津 会長・幹事他の
07月05日(木)	抱負	会長・幹事・副会長
1283回	12:30	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会①
07月12日(木)	ガバナー補佐期首訪問	理事会②
1284回	18:30	ホテル天坊 前年度会長・幹事
07月21日(土)	慰労会	クラブ管理運営委員会
1285回	12:30	ニューウェルサンピア沼津 会員増強維持セ
07月26日(木)	ミナー報告	会員増強・維持委員会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1279回	26 名	22 名	-	84.62 %
1277回	28 名	20 名	2 名	78.57 %

●ゲスト

1. 河野靖人様：メットライフ生命

●ビジター

1. 伊藤 毅様：沼津柿田川RC

●欠席者(4名)

久松 但、井上武雄、鶴田龍聖、山田和典

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	久松 但

●他クラブへの出席者

宮島賢次、山本宜司、鈴木和憲、重光純(6/2 会長・幹事会) 内田逸美、田村治義、久松但、山田和典(6/8 沼津RC) 山田和典(6/11 沼津柿田川RC)

●スマイル報告

1. 伊藤 毅様(沼津柿田川RC)：よろしくお願いします。
2. 鈴木和憲、3. 山本宜司、4. 芹澤和子、5. 成田みちよ：河野靖人様、本日の卓話、宜しくお願い致します。
6. 渡邊勝也：途中退席させて頂きます。
7. 下原満知子：すみません。仕事の都合で、二週お休み致します。メイクアップに行きます。宜しくお願い致します。
8. 神尾栄一：遅刻すみませんでした。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

ありません。

2. 報告・連絡事項

- ①本日は、現・新理事会がありますので、理事の方は出席を宜しくお願いします。

理 事 会 報 告

●現 理事会報告

1. 報告事項

6月2日(土)2017～2018年度 静岡第3分区分第4回会長・幹事会が開催され、2017～2018年度収支決算報告にて、次期繰越金を2018～2019年度静岡第2グループに引き渡す事が承認されました。

2. 協議事項

- ①2018～2019年度インターアクト第45回年次大会参加に伴う参加料支出の件 → 承認
- ②事務局パソコン購入の件 → 購入したことを承認する。

●新 理事会報告

1. 報告事項 ありません。

2. 協議事項

- ①7-8月度 座席の件 SAA 土屋昌之君 → 承認
- ②7月度プログラムの件 クラブ管理運営委員長 久松但君 → 承認
- ③前年度会長・幹事慰労会の件 クラブ管理運営委員長 久松但君 → 承認
- ④花見例会の件
 - ・沼津北RC・御殿場RCから合同例会の提案あり。→ 継続審議
- ⑤前年度会長・幹事に対する慰労金支給の件 → 例年通りとする。⇒ 承認

- ⑥第38回原・浮島ふるさと夏まつり、花火大会協賛の件 → 例年通りとする。承認
- ⑦鈴木良則君の出席規定の免除申請の件 → 承認
- ⑧芹澤貞治君の出席規定の免除申請の件 → 承認
- ⑨渡邊亀一君の出席規定の免除申請の件 → 承認
- ⑩事務局員(川口さん)給与・賃借料について → 承認

外 部 卓 話



健康経営から考える
金融教育の必要性

河野靖人様

「健康経営」という言葉をご存知でしょうか。健康経営とは、一言でいうと「従業員の心身の健康を企業の競争力の源泉と捉え、企業として戦略的かつ積極的に従業員の健康増進に取り組むこと」であり、近年大企業を中心に採用が進んでいる考え方です。決して難しい考え方ではなく、企業の競争力の源泉であるヒトと正面から向き合い、ヒトの活力の源泉である心身の健康を企業経営の重要課題として捉えるという、ある意味で原点に立ち戻った考え方といえるでしょう。ここで言う健康とは身体の健康(PHYSICALWELLNESS)と心の健康(MENTALWELLNESS)を指します。

もう一つ近年注目されている分野でお金の健康(FINANCIALWELLNESS)があげられます。心身の健康とお金に関する不安や悩みは密接な関係性があると言われます。お金の悩みから心身の健康バランスを崩す要因にもなりえます。お金の健全性を保つためには、金融リテラシー(知識・判断力)を一人ひとりが高めなければなりません。その為には金融教育の場が必要なのですが、日本では欧米の諸国に比べ、金融教育は立ち遅れているといわれております。長寿化・少子高齢化が進むこれからの時代、金融リテラシーの向上はますます必要とされていくでしょう。心身の健康を保つための健康診断やストレスチェック、カウンセリングと同様に、お金に関する教育機会の提供や情報発信は大企業はもとより中小企業においても求められます。企業を支える屋台骨が人材であることから、その人材が心身ともに健康であることは、当然企業のパフォーマンスの向上に繋がるでしょう。また、日々を過ごす職場において三つの健康に目を向けることは、プライベートの充実にもつながり、ひいては人生の充実にも繋がります。その意味で、健康経営が持つ可能性は「会社」に留まらず「社会」にまで及ぶといっても過言ではないでしょう。

-----5月分出席一覧-----

頼川 (1)	久松(3, 1)	井上 (1)	神尾 (2)	宮口 (3)	宮島 (④) + 1	本村 (2, 1)
永井 (3) + 1	名古(④) + 1	成田(3, 1)	芹澤和(④) + 1	芹澤貞(④) + 1	重光(3, 1)	下原(3) + 1
杉山 (④) + 1	鈴木博(④) + 1	鈴木和(3, 1)	鈴木良(3, 免除)	田村(3, 1) + 1	土屋(3, 1)	鶴田 (3, 1)
内田(3, 1)	植松 (④) + 1	上野 (1)	渡邊勝(3, 1)	渡邊亀 (④)	山田 (④) + 1	山本(④) + 1
			例会出席%	77 . 47 %	地区報告%	86 . 49 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。

● クラブテーマ ● ク ラ ブ を 変 化 さ せ よ う

■■ 本日のプログラム ■■ ■ 1年を振り返って 会長・幹事 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)

●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)

E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1280 例会 会長挨拶◆◆

クラブ満足度アンケートの結果を、この時間では要点のみお知らせします。

このアンケートは、かなり前から存在する物で、日本中のロータリークラブで利用されています。クラブによっては定期的に行いクラブ活動の改善に役立っています。

当クラブは私が知る限り今回が第1回目ですので、過去とは比べようがありませんが、現状を把握するには良いアンケートだと思います。これから一年毎にでも行えば会員の意見が反映されて、活動の改善・会員維持にも繋がっていくものと考えます。

アンケートの回収率は全体で対象27名の会員数に対して25名の92.6%でした。

まず、問1の「沼津西RCに受け入れられていると感じますか。」については、「はい」が23名、「いいえ（どちらとも言えない）」が2名でした。これは全員「はい」と答えて頂きたかったところですが、「いいえ」の2名は入会10年以下でしたので、まだクラブに溶け込んでいないところがあるのだと思います。会員歴が長い会員の協力と短い会員の努力が大事と思いました。

次に、問2の「あなたは、沼津西RCの組織としての現状をどう思いますか。」については、⑦「明るく打ち解けた雰囲気である」を選んだ人が68%と一番多いのに対して、①「現状に満足している」の全体は44%ですが、会員歴3年以内は17%、21年以上は80%と新会員とベテラン会員とで対照的になりました。また、②「現状に不満な点がある」会員は、10年以下で2名ありました。

この結果でも、会員歴が長い会員と短い会員の隔たりがあることが分かりました。しかしながら、各問の「その他」の回答にしても、最後の問10「クラブを変えたいところ」にしても、率直な意見が述べら

れていることから、改善の道は見付け易く、これからのクラブ内外の研修や委員会活動の経験等新旧会員の交流を通じて、ロータリーを理解して頂き、改善への意見交換をしていけば、必ず良い変化が生まれて行くと確信致しました。

アンケートが無駄にならない様に、今後の皆様のご協力をお願い致します。

6月のプログラム

1281回 18:30 ニューウェルサンピア沼津 さよなら例会
06月28日(木) クラブ管理運営委員会 夜間例会

7月のプログラム

1282回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 会長・幹事他の
07月05日(木) 抱負 会長・幹事・副会長
1283回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会①
07月12日(木) ガバナー補佐期首訪問 理事会②
1284回 18:30 ホテル天坊 前年度会長・幹事
07月21日(土) 慰労会 クラブ管理運営委員会
1285回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 会員増強維持セ
07月26日(木) ミナー報告 会員増強・維持委員会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1280回	27 名	24 名	-	88.89 %
1278回	25 名	21 名	2 名	92.00 %

●欠席者(3 名)

本村文一、下原満知子、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

久松 但(6/15 沼津RC) 田村治義(6/16 IAC会議)
芹澤和子、下原満知子(6/18 沼津柿田川RC)
鶴田龍聖(6/18 伊豆中央RC)

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	久松 但

●スマイル報告

1. 名古屋良輔：入会記念日のお祝いありがとうございます。
2. 重光 純：宮島会長、山本幹事、本日の卓話、よろしくお願ひします。
3. 鈴木良則：会長・幹事様、卓話、宜しくお願ひします。
4. 久松 但、5. 井上武雄、6. 鶴田龍聖、7. 永井克彦：所用につき、早退させていただきます。
8. M.Aテーブル：テーブル会残金です。
9. 現・新公共イメージ委員会：現・新公共イメージ委員会テーブル会残金です。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①富士山吉原RC

6月28日(木) 会長幹事慰労会 夜間例会
於：ホワイトパレス MU受付11:30-12:30

②新富士RC

6月26日(火)→23日(土) 期末例会
於：伊豆長岡ホテルサンバレー

③富士宮RC

6月25日(月) 会長幹事慰労会 於：志ほ川 18:30-

④沼津柿田川RC

6月25日(月)→23日(土) 家族例会 サインMU 有

2. 報告・連絡事項

- ①次週28日(木)は、さよなら例会で夜間例会です。
バスに乗車の方は、沼津駅17:30、原駅17:45です。

会 員 卓 話



一年を振り返って

宮島賢次 会長

毎週の例会は、楽しく魅力ある運営を望まれます。会長の挨拶も楽しませる一つと考えていましたので、会員の皆様が今日はどのような話が聞けるかと、興味を持って頂ける様な内容を常に考えて来ました。

しかしながら、生来口下手で浅学菲才な私が出来る能力の限りで一生懸命考えたつもりでしたが、皆さんに満足して頂けたとは思っていません。それは私の自己満足の世界でもあるからです。今年度は比較的新しい会員が多かったのも、早くロータリーを知って頂く為にもロータリーの話をもくしました。私も大変勉強になりました。

ロータリーの事を知ろうと思うと、何しろ113年の歴史がありますからとても1・2年で全てを知られるものではありません。15年在籍した私でも知ったことは極一部だと思います。新しい会員を含め、皆様も興味を持ってロータリーを探求して頂くと面白くなって来

ると確信しています。

クラブ運営に付きましては、2回目の会長ですので、緊張感は少し薄らいではいましたが、前回よりはマシなことをせねばとは思っていましたが、やはりやり残して気掛かりなことが少しはあります。それでも拙い会長の元、急な要請を引受けて下さった山本幹事、理事の皆様、各委員会・会員の皆様のご協力を得て一年間大過なく過ごせたかなと思っています。一年間誠に有難う御座いました。

また、次年度のクラブ運営が上手くいきます様祈念申し上げ、振り返っての締め括りと致します。



一年を振り返って

山本宜司 幹事

皆さん、こんにちは。1年間自分がどうであったか振り返ってみたいと思います。

この1年は、とても長いようで、短い1年でした。2016年7月に入会し、少しずつ気楽に活動していこうと思っていました。ところが、2016年10月に宮島会長から突然幹事依頼の電話を頂きました。入会間もない自分が幹事などできるはずないと思いましたが、与えられたチャンスを生かし、勉強しながらやってみようと思いました。

昨年3月のPETS4月の地区研修に出席し、改めて幹事の大変さを感じました。

自分が考える会長・幹事の関係は、会長との阿吽の呼吸が必要だと考えていました。

会長が考えていることを即座に理解し行動し、今何をすべきか、理事や会員に伝える役目であると。しかしながら十分に役目を果たせなかったと反省しています。

この1年どれだけの人と巡り合い、心からの会話ができ、自分に吸収できたかわかりませんが、その為の手段が多く用意された年であったと思います。このような機会を得られたことは、今後のロータリー活動、人生においても何よりも価値あるものとなりました。自分自身「一期一会」という言葉があまりに重く大切な言葉であったことを感じた次第です。

クラブ内の行事としては、7月の納涼家族例会・12月のクリスマス家族例会・1月の新年会・4月の隅田川花見例会・5月の千本浜海岸清掃など理事会で協議された事が実行されていくまでの過程を見ることが出来ました。

最後になりますが、ロータリーの事を一番わかっていない自分を幹事として温かい目で見守って頂きました宮島会長に感謝すると共に、理事・会員の皆様、大変お世話になりました、そして事務局の川口さん、陰ながら支えて頂きまして1年間有難うございました。感謝申し上げます。まだ幹事として1週間任期がありますが、この貴重な経験を生かして今後とも、一会員としてマイペースで楽しく活動していきたいと思っています。有難うございました。

● クラブテーマ ● ク ラ ブ を 変 化 さ せ よ う

■■ 本日のプログラム ■■ ■ さよなら例会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1281例会 会長挨拶◆◆

今年度最後の挨拶となりますが、毎年度重要目標になります会員純増が達成出来ませんでした。今日は会員増強の必要性・重要性についてお話ししたいと思います。

会員増強の「増」は会員の量を増やすことであり。「強」は会員の質を高めること即ち、会員の内なる人を強くする、ロータリーを知ることであります。ロータリーを知らなければ入会候補者を説得する事も出来ません。然るに、入会5年未満会員向けに研修会も2回ですが行いました。若い会員に若い入会候補者を誘って頂きたい面もあったからです。

会員増強をしなければ、クラブの活性化が出来ないどころか最後は消滅してしまいます。人は毎年歳をとり、病気、死亡、定年、廃業等、減少理由はたくさん生じてきます。若い新入会員が入らなければ平均年齢も毎年上がっていきます。それだけでなく、現状のメンバーだけの運営では段々マンネリ化していきます。ゴルフに例えますと、いつも同じメンバーでプレーするのも楽しいのですが、たまには初めて会う方が入って一緒にプレーしたら、緊張感が生まれスコアが良かったりしたことありませんか?いつもとは違った話題で盛り上がることもあります。ロータリーも同じで、新しいメンバーが入れば、新しい輪が増えます。特にロータリーの良いところは、異業種や色々な年代で構成されているところです。自分の知らなかった世界がどんどん広がります。新しい入会者の友人も間接的に知り合いになれるわけで、友達の輪がどんどん広がりクラブが活性化します。

自分が楽しくないところには、人は誘えません。クラブを楽しくさせることをまずは自分なりに考え

るようになってきます。そして、みんなも楽しくなれば、どんどん仲間の輪は広がります。ロータリーには人生を彩らせてくれる素晴らしい方がたくさんみえます。楽しく興味深い例会、クラブ運営を見れば、入会させてほしいという方が増えてくるはずです。楽しければ間違いなくクラブは活性化し、会員増強にもつながってきます。

5年後10年後を見据えて、次年度は全員で真剣に取り組みましょう。

7月のプログラム

1282回	12:30	ニューウェルサンピア沼津	会長・幹事他の
07月05日(木)		抱負	会長・幹事・副会長
1283回	12:30	ニューウェルサンピア沼津	クラブ協議会①
07月12日(木)		ガバナー補佐期首訪問	理事会②
1284回	18:30	ホテル天坊	前年度会長・幹事
07月21日(土)		慰労会	クラブ管理運営委員会
1285回	12:30	ニューウェルサンピア沼津	会員増強維持セ
07月26日(木)		ミナー報告	会員増強・維持委員会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1280回	25 名	23 名	-	92.00 %
1278回	26 名	22 名	3 名	96.15 %

●欠席者(2名)

宮口雅仁、下原満知子

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	久松 但

●スマイル報告

1. 宮島賢次：皆様一年間ご協力、ありがとうございました。
2. 山本宜司：1年間、ありがとうございました。
3. 鈴木和憲：会長、幹事、1年間ご苦労様でした。
4. 久松但、5. 杉山真一、6. 成田みちよ：宮島会長、山本幹事、1年間、ごくろうさまでした。
7. 名古屋良輔、8. 植松 正、9. 鶴田龍聖：会長、幹事、1年間ご苦労様です。
10. 重光 純、11. 田村治義、12. 颯川ゆう子、13. 永井克彦、14. 神尾栄一、15. 芹澤和子、16. 土屋昌之：会長・幹事、1年間ありがとうございました。
17. 内田逸美：宮島会長、山本幹事、お疲れ様でした。ありがとうございました。
18. 芹澤貞治：宮島会長、山本幹事、1年間、ありがとうございました。
19. 本村文一：宮島会長、山本幹事、1年間、おつかれさまでした。
20. 名古屋良輔：6月も100キロ走り、40ヶ月連続目標達成しました。



乾杯の発声は、
芹澤貞治君



Mテーブル



Aテーブル



Bテーブル



Cテーブル



Dテーブル



Eテーブル



閉会の挨拶は、
鈴木和憲次期会長



最後の閉めは、
山本宜司幹事
による一本締め

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津RC

6月29日(金) 裁量休会 MU受付11:30-12:30
沼津リバーサイドホテルにて

②富士宮西RC

6月29日(金) 炉辺例会於:志ほ川本店にて 夜間例会

2. 報告・連絡事項

- ①次年度より、沼津柿田川RCの例会は、水曜日となります。例会場・例会時間の変更はございません。

さよなら例会（懇親会）

例会終了後、懇親会を開催しました。



司会は、井上武雄君 と
山田和典君



開会の挨拶は
名古屋良輔前会長